

播磨町の協働のまちづくりの現在地

2024.08.07

播磨町まちづくりアドバイザー /

佐用町縮充戦略アドバイザー

佐伯亮太



播磨町 町制施行60周年 記念式典

わたしたちは播磨町の未来に向かって、みんなで考え、みんなで話し合い、みんなの力を合わせて、人と人がつながるまちづくりを実現するため、「協働のまちづくり」を宣言します。（令和4年5月29日宣言）

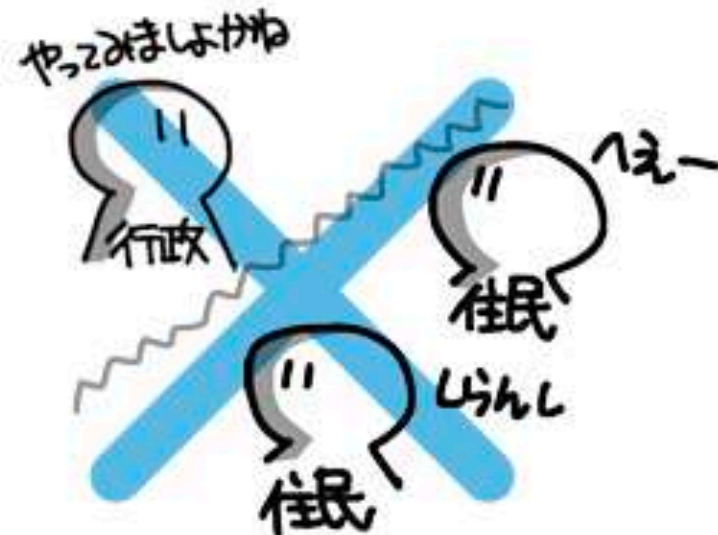
わたしたちは、

- 1.自分たちのまちをみんなで作る、**参画と協働のまちづくり**を行います。
- 1.誰もがまちに興味をもち、**楽しく地域活動に参加できるまちづくり**を行います。
- 1.誰もが情報にふれやすく、**まちの動きがわかるまちづくり**を行います。
- 1.ひとりひとりが手を取りあい、**地域コミュニティに根ざしたまちづくり**を行います。

① 住民が積極的に参画できる協働のまちづくり



住民も行政も一緒になって進める



行政だけ、住民だけで進める

② まちづくりに参加するためのきっかけづくり

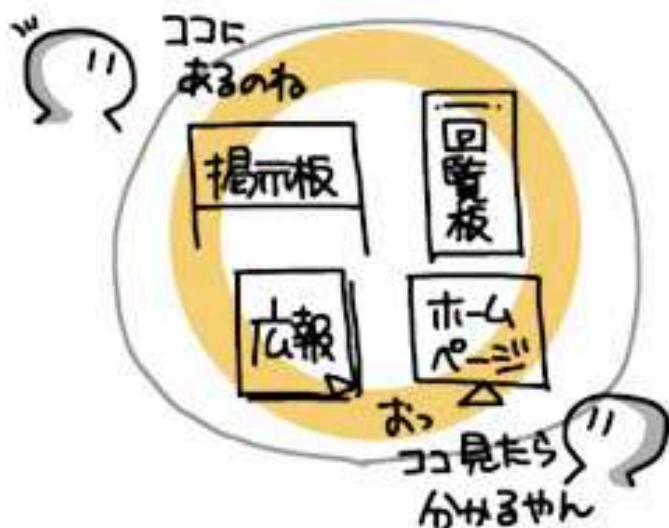


お互いに声を掛け合えられる



お互いのことに無関心

③ 地域情報を得やすくするための見える化



情報がわかりやすくまとまっている



情報がバラバラでわかりにくい

④ 効果的・効率的に活動できるための仕組みづくり



どこに何を聞けばよいかわかりやすい



複雑でどこに聞いていいかわからない

例えば、行政の計画づくり



例えば、行政の計画づくり



地域公共交通計画策定のためのワークショップ

例えば、町長と語ろうオープンミーティング



町長と語ろうオープンミーティング@南部コミセン

民生委員と自治会長が話し合う機会



南部イレブン協働の会

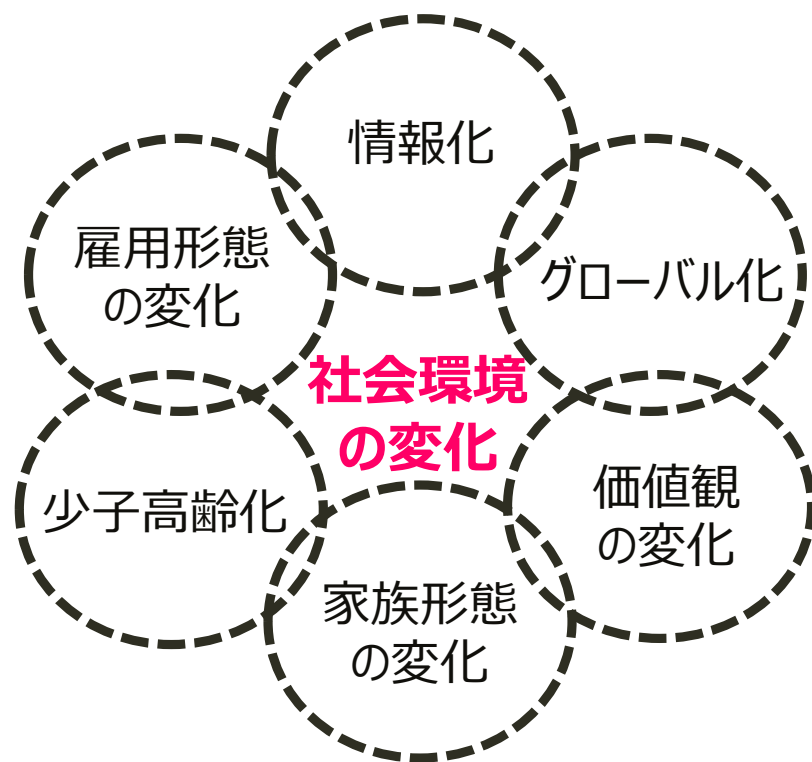
例えば、公共施設の運営への市民参加



中央公民館しゃべり場「みんなで作っていく公民館、どんなことができそう？」

**まちのいろんなところに
集い対話ができる
播磨町に。**

なんでもかんでも単独組織でやるのは厳しい時代



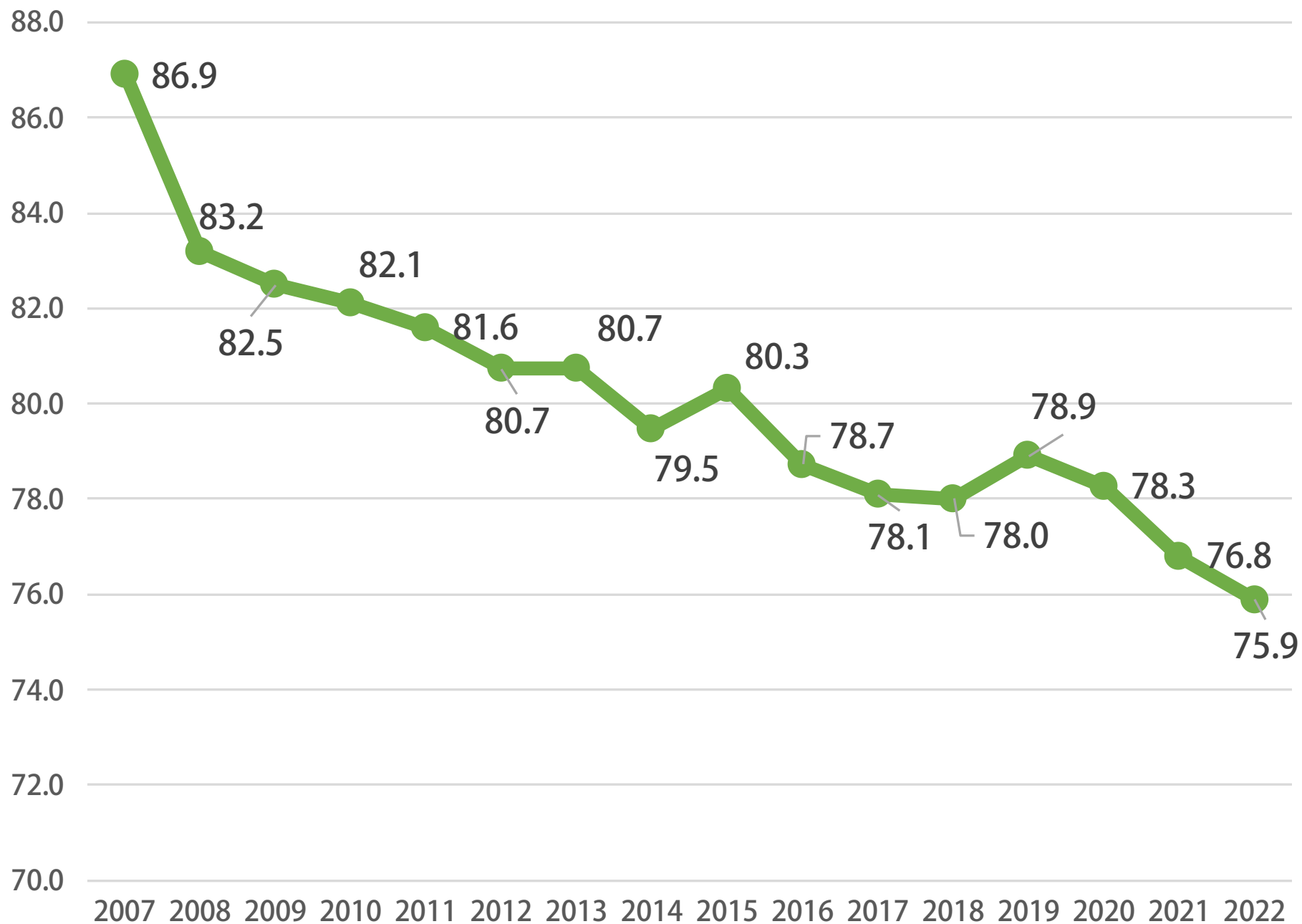
**自治会や各種団体だけで
地域活動に対応できない**



- 自治会加入率の低下
- 高齢化
- 担い手不足

地区内の各種団体の協働が必要！

播磨町の自治会加入率の推移

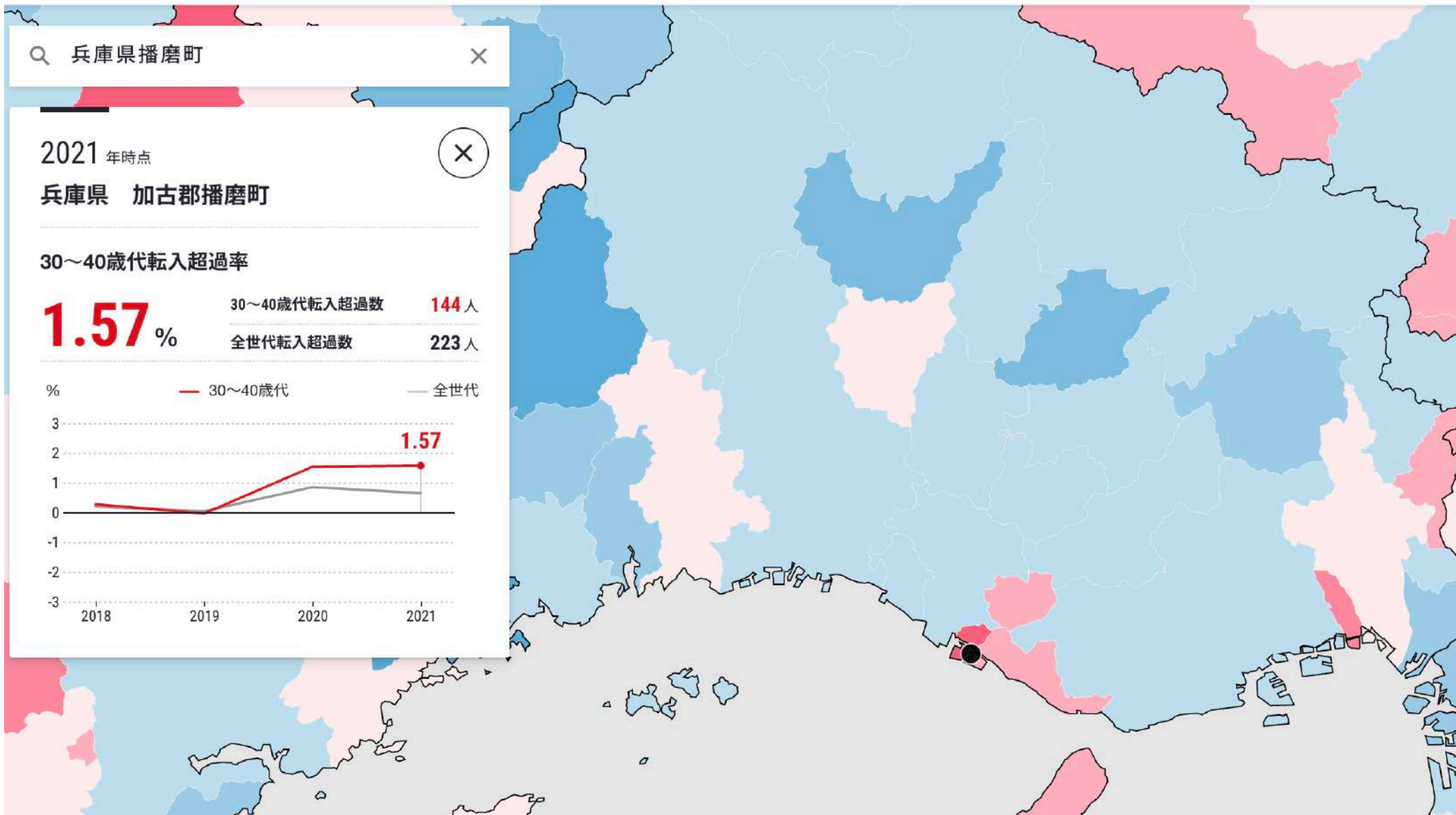


30-40代が県内で一番転入するまち

日本経済新聞

ふるさとクリック 地図で見る子育て世代の流入

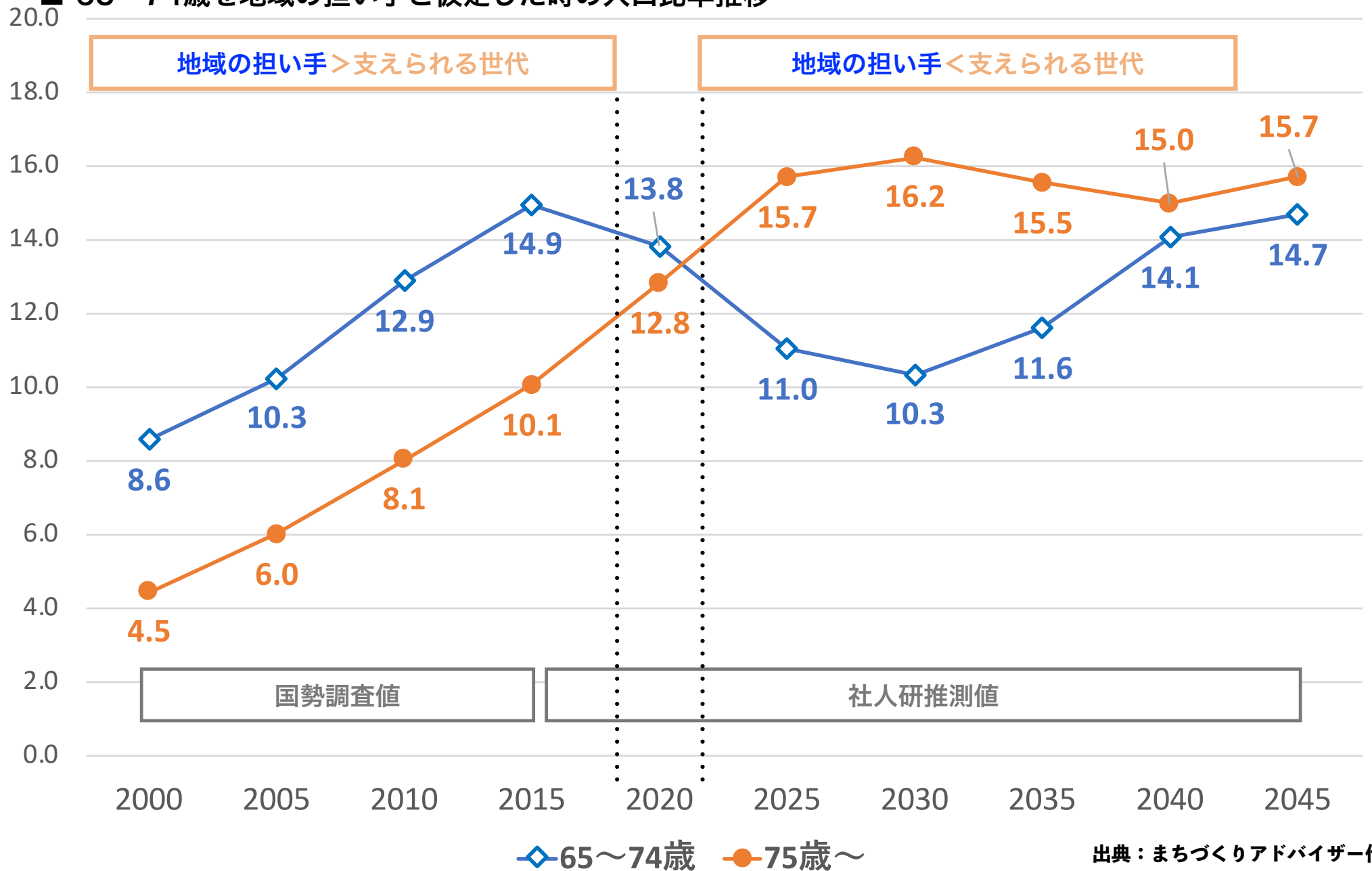
2022年2月18日 公開



出典：日経新聞ふるさとクリック

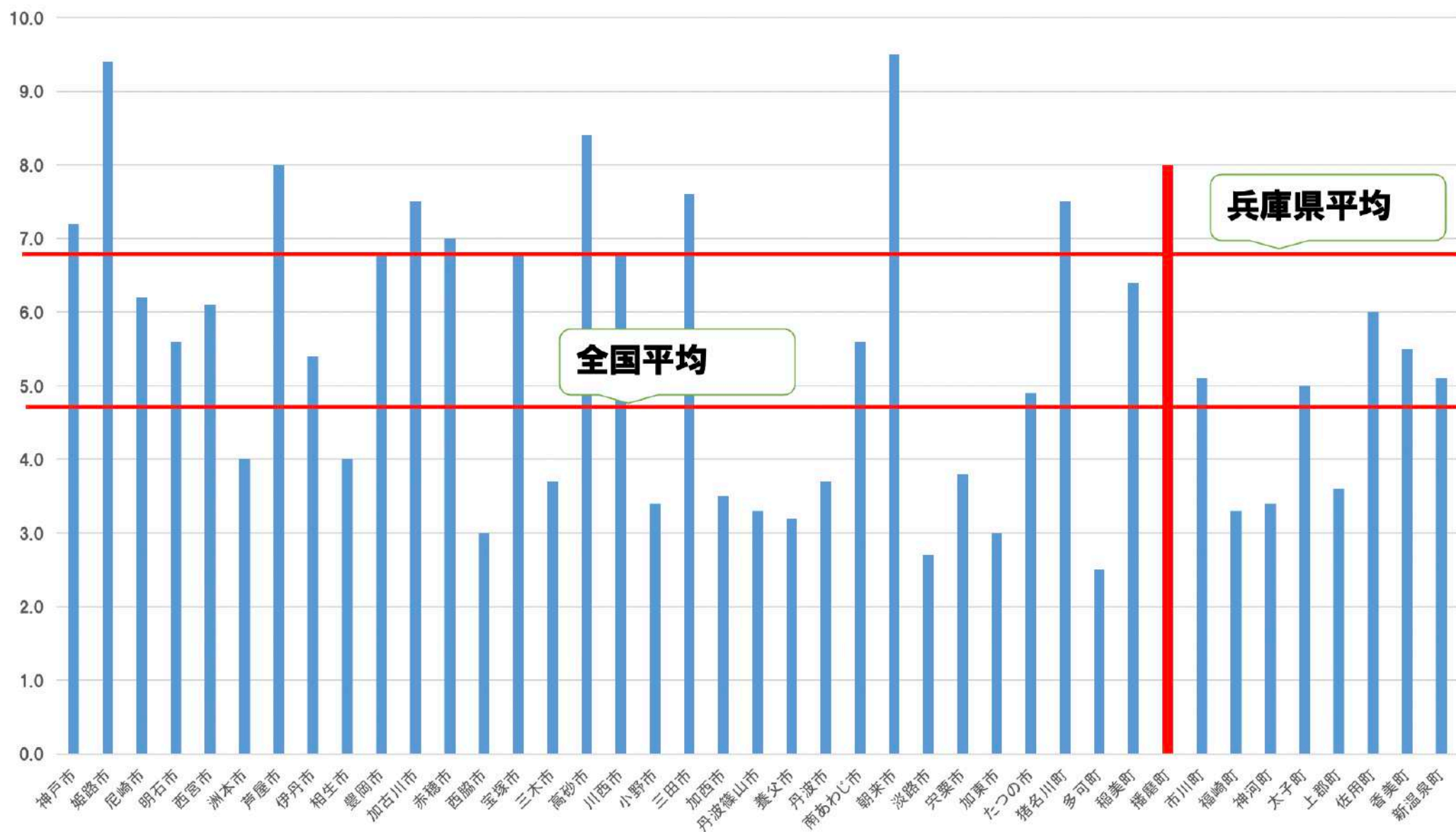
75歳以上の割合が増える播磨町

■ 65～74歳を地域の担い手と仮定した時の人口比率推移



75歳以上が増える播磨町

認定率（要支援1）75歳以上



つながりづくりの一つとして、同じ興味の人が集まる機会づくり

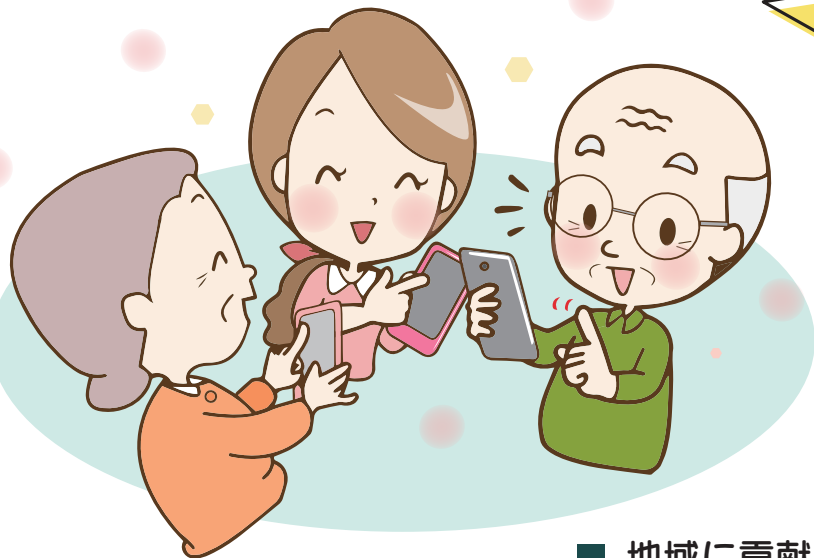
募集

スマホ サポーター 養成講座

POINT

こちらは、今春以降の
「高齢者向けスマートフォン講座」の開催に向け、

スマートフォンの **使い方** 等を
アドバイス していただける
サポーターの養成講座です。



募集要項

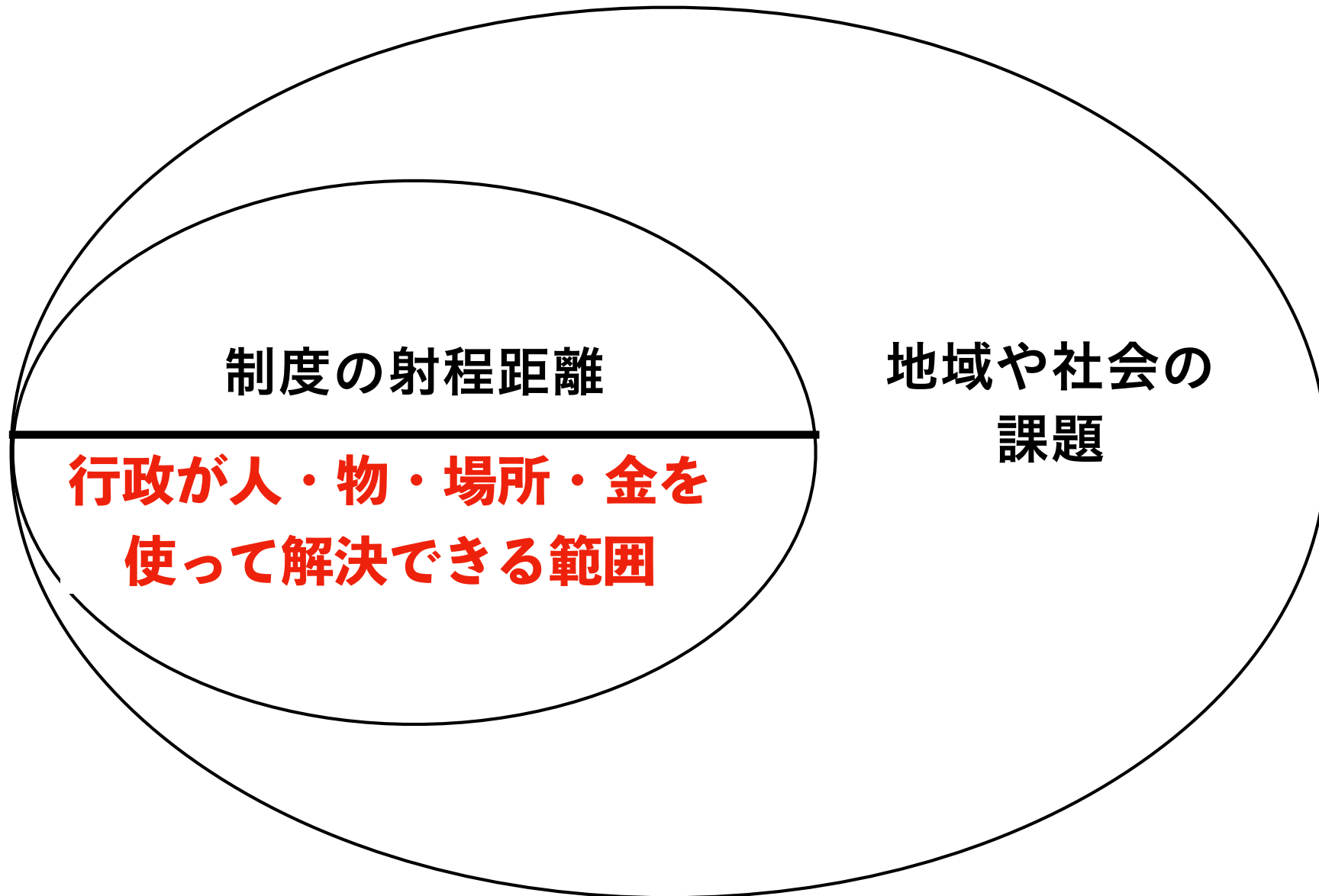
- 地域に貢献しようと思われている方
- 地域で仲間づくりを考えている方 などご参加をお待ちしております！

つながりづくりの一つとして、同じ興味の人が集まる機会づくり

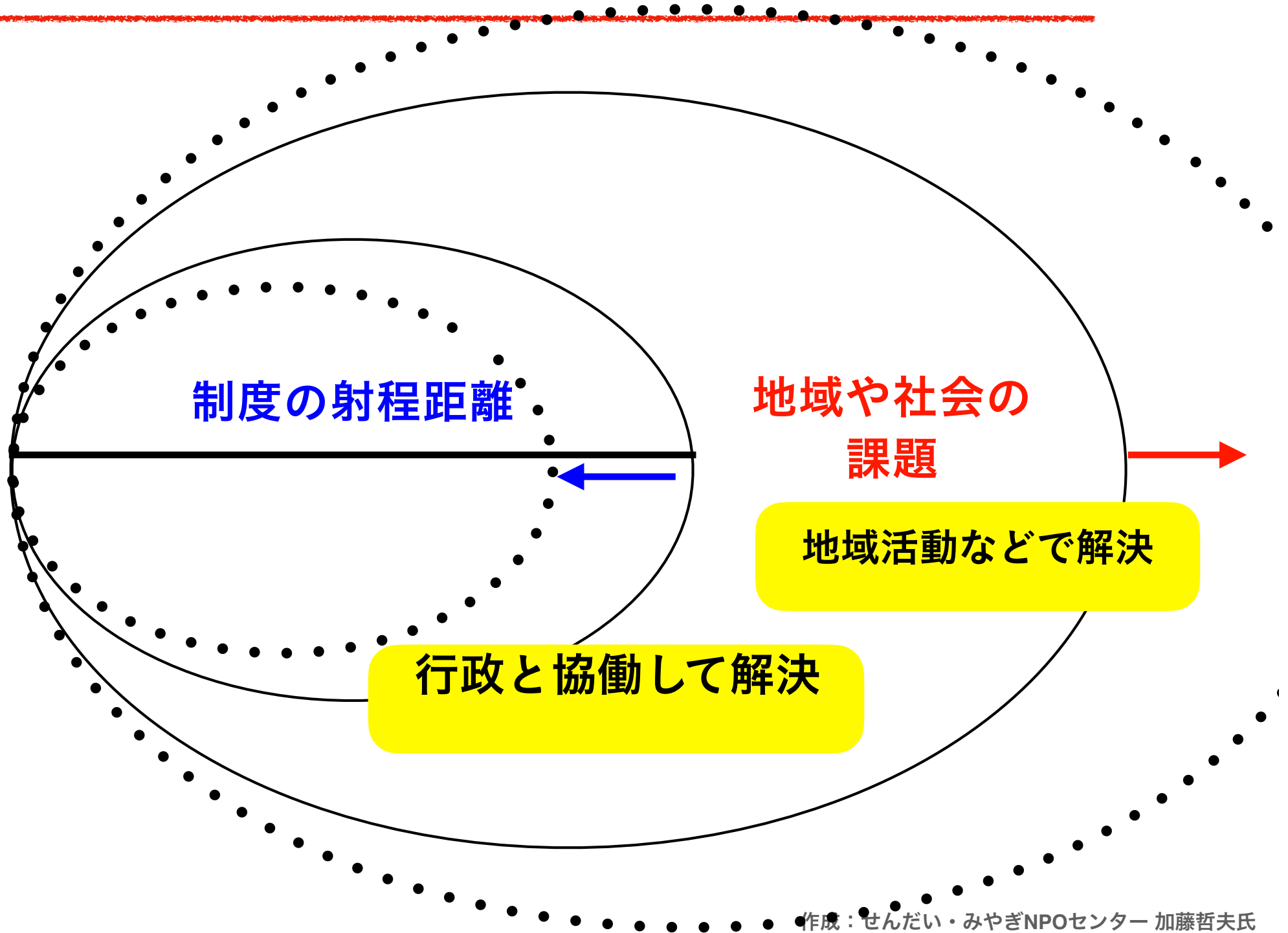


スマホ教室に行くことが健康につながる

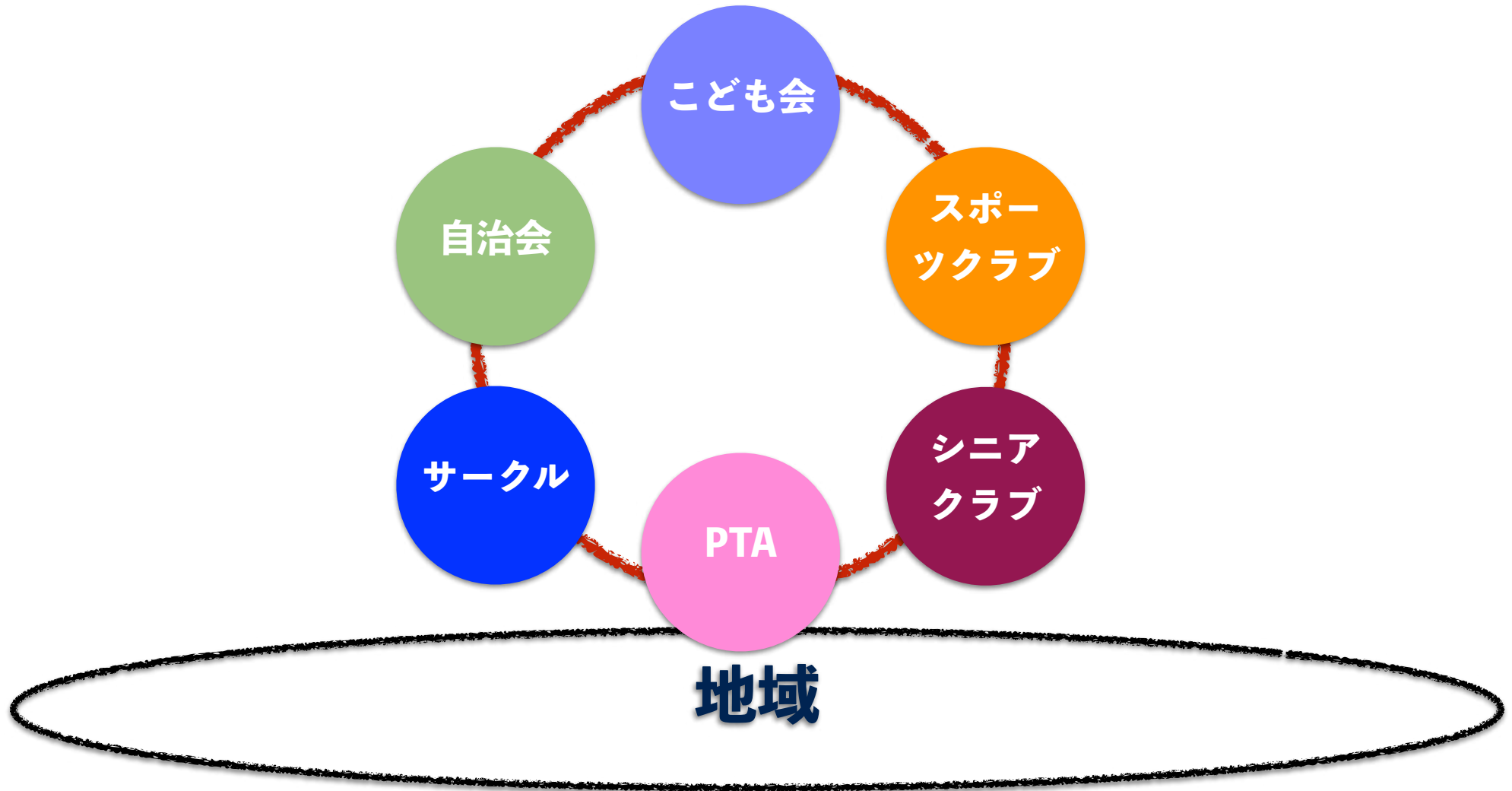
■地域課題の解決と制度の射程距離



■地域課題の解決と制度の射程距離



人も団体同士もつながることで効率化



官民間わず、団体の協力・連携が必要

	これまで	これから
はじめるきっかけ	使命感・義務感	おもしろそう
ススメ方	形式的	実質的
継続	使命感・義務感	楽しい
活動の視点	課題解決	未来志向
活動する人	役割決め	やれる者でやる

「これまで」と「これから」は違う

最後に「まちづくり・地域づくり」って？



まちおこし

あるテーマに沿った何かを創り出す役割

サービス提供は地域外の人向けが多い

注目されやすくマスコミ受けがいい

地域づくり

そもそもの生活の場の仕組みを創り出す役割

サービス提供は、地域に住む人向け

地道な取り組みが多く注目されにくい